

Google Workspace for Education

ハイブリッド授業とバーチャル授業チェックリスト

Google Workspace for Education の有償エディション ([Education Standard](#)、[Teaching and Learning Upgrade](#)、[Education Plus](#)) は、教育向けにカスタマイズされたエンタープライズ級のツールを備えており、革新的な学習環境の実現に役立ちます。ここでは、Workspace 環境をハイブリッド授業とバーチャル授業に向けて準備するための対策をご紹介します。

Google Workspace for Education のご検討は初めてですか？

エキスパートが詳しくご案内しますので、[こちら](#)からお問い合わせください。

Google Workspace 管理者の方には、ハイブリッド授業とバーチャル授業の準備として以下のような基本的対策を行っていただくことをおすすめいたします。

- 組織に合わせて [Meet をカスタマイズする](#)
- Meet を使って [遠隔学習を行う](#)
- 遠隔学習をサポートする [Meet の機能](#)
- Meet の使用に関する [教師と生徒のトレーニング](#)
- [録画](#) を有効または無効にする
- [ライブ ストリーミング](#) を有効または無効にする
- Meet の [背景の変更](#) をユーザーに許可するかどうかを制御する
- [出席レポート](#) を有効または無効にする
- Google Meet の [セキュリティとプライバシー](#) (管理者向け)
- [Meet のトラブルシューティングと使用状況の管理](#) 方法
- [大規模な組織](#) で Meet を導入する
- [ビデオ会議用ハードウェア](#) で Meet を使用する